

## 4月10日のウクライナ情報

安齋育郎

### ①ウクライナの中等学校(2024年4月6日)



<https://twitter.com/Z58633894/status/1776307200937566399?s=09>

### ②ウクライナの武装勢力が、ザポロジエ原子力発電所(NPP)の貨物港と窒素・酸素ステーションの近くをドローンで攻撃(2024年4月6日)

重要なインフラへの被害やステーションの混乱は見られなかった。

ロシア外務省によると、ロシアはキエフとその西側の後援者に対し、ザポロジエ原子力発電所の状況を攻撃したり不安定化させたりするいかなる試みに対しても警告を発し、IAEA に対し、原子力発電所にいる専門家を使って、ウクライナ側から原子力発電所が攻撃されたすべての事例を公に記録するよう要請している。

ザポロジエ原子力発電所はドニエプル川左岸に位置し、ヨーロッパ最大の原子力発電所である。2022年3月上旬にロシア軍の支配下に入り、それ以来繰り返し砲撃を受け、原発事故の可能性に対する国際的な懸念が高まっている。IAEAの専門家たちは、ラファエル・グロッシ事務局長の初訪問を受けて、2022年9月1日からザポロジエ原子力発電所で作業を行っている。

<https://twitter.com/Z58633894/status/1776289291830005807?s=09>

### ③「証拠はないけど。ウクライナは関与していない！」(2024年4月5日)

※投稿者コメント:しかし、証拠は次々出て来る。ウクライナの次はアメリカにたどり着く。

クロッカステロリストの携帯電話からウクライナ国旗を掲げた人々の写真が発見された

ロシア調査委員会は、クロッカスでのテロ攻撃と北部軍管区との間に関連性がある可能性を立証した。



<https://twitter.com/trappedsoldier/status/1776240717767336118?s=09>

#### ④ゼレンスキー冷やかし画像(2023年12月15日)



<https://twitter.com/S5WLsj6PYoAENV0/status/1735438397731446843?s=09>

#### ⑤西側最悪のシナリオとは(2024年4月6日)

※投稿者コメント:西側高官の意見では、彼らにとっての「最悪のシナリオ」は、ウクライナ領土がポーランドとロシアに分割され、中央に小さな緩衝国が残る可能性があるという。同氏は同国の支配政権がロシアに従属する可能性が高く、それが NATO 諸国の立場を極めて脆弱なものにするだろうと強調。よく分かっていると思う。

西側高官の意見では、彼らにとっての「最悪のシナリオ」は、ウクライナ領土がポーランドとロシアに分割され、中央に小さな緩衝国が残る可能性があるという。同氏は同国の支配政権がロシアに従属する可能性が高く、それがNATO諸国の立場を極めて脆弱なものにするだろうと強調。

<https://twitter.com/TeiichiAoyama/status/1776436300641632347?s=09>

#### ⑥ウクライナ戦線でウクライナ人女性を見かけることが増えています(2024年4月6日)

最後のウクライナ人まで!

ゼレンスキーはウクライナの損失についていくらでも嘘をつくことができるが、2022年にウクライナにいたよく訓練された兵士たちが今はもういないという事実は変わらない。

<https://twitter.com/i/status/1776542109153255538>



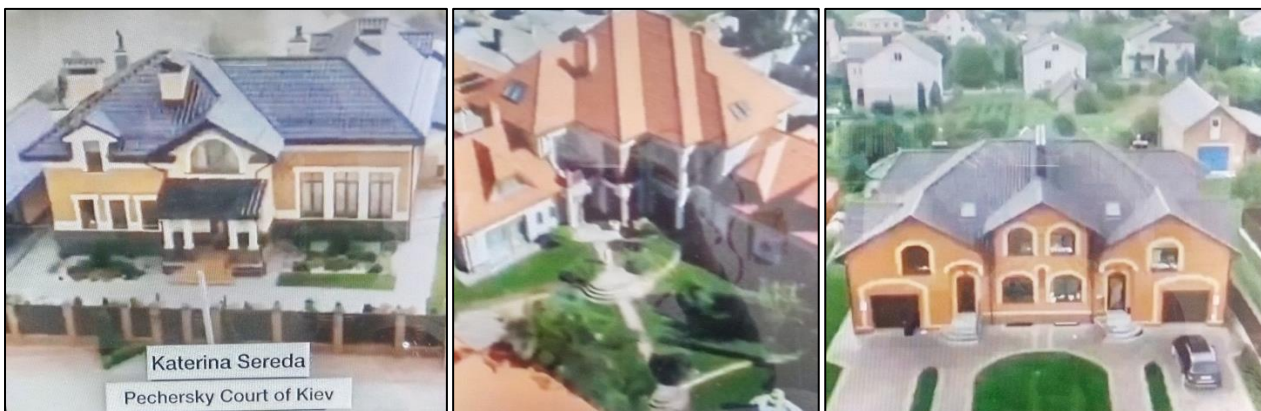
<https://twitter.com/Mari21Sofi/status/1776542109153255538?s=09>

### ⑦豪華な家が立ち並ぶキエフ近郊の村(2024年4月6日)

キエフ近郊のウクライナの寡頭政治の小さな村。ここにはビジネスマンはほとんど住んでいません。政府がここに住んでいます。アメリカの援助を吸収した「国民の奉仕者」従業員。援助の80%はアメリカ人、15%はウクライナ官僚が受け取った。前線に到達したのは5%未満でした。これは通常の業務です。

ちなみに、戦争期間中、そこには一発の砲弾も落ちませんでした。

<https://twitter.com/i/status/1776540583873630382>



<https://twitter.com/Mari21Sofi/status/1776540583873630382>

## ⑧ウクライナの弾薬不足は深刻で、兵士は沼地でロシアの不発弾を探さなければならない(2024年4月7日)

ウォール・ストリート・ジャーナル紙が報じたところによると、ウクライナ軍の司令官たちは、兵士たちに将来のために沼地で不発弾を探させている。

同誌は、36歳の軍人マキシム・ポリュホビッチ氏の話を用いている。彼は、砲弾を探すために泥の中に潜り、地雷原の中を数キロ歩かなければならないという。彼によれば、「指揮官の食欲は増している」。「私が100発送ると、翌日にはもっと弾薬をくれという電話がかかってくる」と彼は言う。

3月、ウクライナのイヴァン・ハヴリリウク国防副大臣は、ウクライナ国内のある種の弾薬の備蓄が危機的なレベルまで低下しており、ウクライナ軍の任務遂行が困難になっていると述べた。

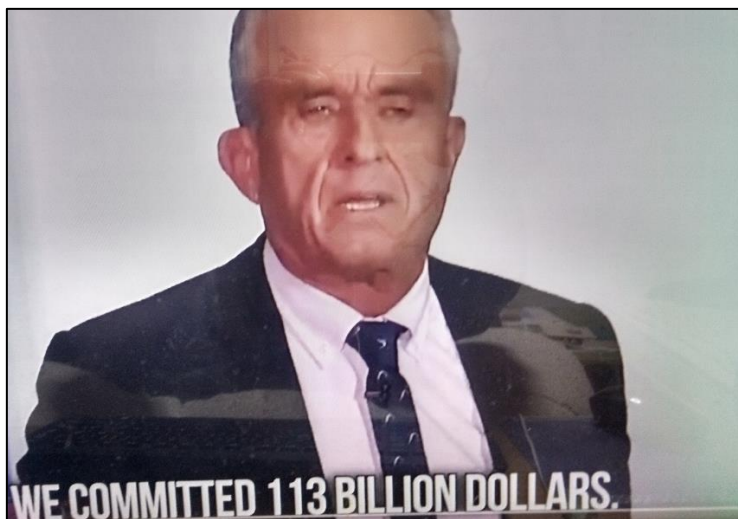


<https://twitter.com/Z58633894/status/1776668214250127448?s=09>

## ⑨RFK Jr.:ウクライナ戦争で本当に利益を得ているのは誰?(ロバート・ケネディ・ジュニア、一部既報、2024年4月7日)

ウクライナでの戦争が大企業にとって何を意味するのかを理解している人は少ない—つまり、機会である。それは武器や再建契約だけではない。世界で最も肥沃な土地の一つであるウクライナの広大な農地が手に入れられるチャンスがあり、アメリカの企業であるブラックロックが先頭に立っている。

<https://youtu.be/SV3TSQIpxg0>



<file:///C:/Users/jsanz/Downloads/KIMG2113.JPG>

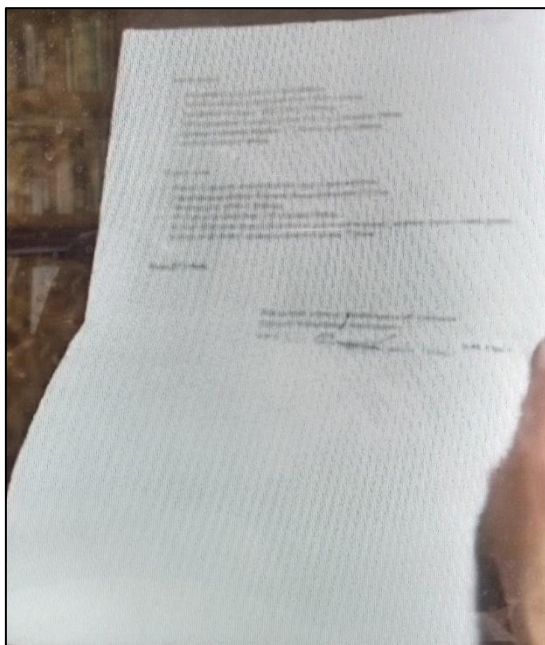
## ⑩日本からの支援金はどこに行ったのかな～(2024年4月7日)

ウクライナ軍の殉職兵士の妻は、戦死した夫の軍服の請求書を受け取った。金額は 22 万 7000 フリヴニャ。

妻はショックを受けている。

ウクライナ軍の兵士の多くは、自分の装備をクレジットで購入している。夫は死んだので、妻が支払うことになる。

<https://twitter.com/i/status/1776796718794936390>



<https://twitter.com/Southern X777/status/1776798663408599206?s=09>

## ⑪ゼレンスキーがある程度普通だった頃、平和のカードを切っていた。あの頃は...(2024年4月7日)

金はものを言う。これは数年前のゼレンスキーで、ロシア人とウクライナ人は一つの民族だと言っていた(これは彼が何十万人ものウクライナ人の血に身を浸すと決めるずっと前のことだ)...

<https://twitter.com/i/status/1774628877437964534>



<https://twitter.com/21WIRE/status/1774628877437964534?s=09>

## ⑫スロバキア大統領に左派党首ペレグリニ氏 政府の親露姿勢加速か(2024年4月7日)

スロバキア大統領選の決選投票が6日あり、フィツォ首相に近い左派HLAS(声)党首で国会議長のペレグリニ氏が当選した。昨年発足したフィツォ政権はウクライナへの武器供与停止を表明するなど親露的で、それが加速する可能性がある。

スロバキアでは政治・行政の主導権は首相にあるものの、大統領にも法案への拒否権など一定の権限がある。

大統領選は3月23日に1回目の投票があった。僅差で親欧米派のコルチョコ元外務・欧州問題相が首位、ペレグリニ氏が2番手となったが、過半数を獲得した候補者がいなかったため決選投票になった。今回はペレグリニ氏が逆転し、得票率はペレグリニ氏が53.1%、コルチョコ氏が46.8%だった。

スロバキアでは、昨年9月の総選挙でフィツォ氏率いる中道左派スメル(道標)が第1党となった。フィツォ首相は汚職対策に取り組む特別検察を廃止するなど、「法の支配」を弱める制度変更で反発を呼んでいる。

ペレグリニ氏はスメル出身で、財務相などを経て2018~20年には首相を務めた。選挙戦では、欧州連合(EU)や米国に追随せず、ウクライナに対しては軍事支援より和平交渉を重視すると主張していた。任期は5年。現職のチャプトバ大統領は再選を目指さないと表明していた。【ベルリン五十嵐朋子】



<https://mainichi.jp/articles/20240407/k00/00m/030/032000c?s=09>

## ⑬ゼレンスキー氏、マクロン氏のウクライナ派兵発言を支持(2024年4月7日)

ゼレンスキー 大統領は、#ウクライナ に軍事指導官や整備士を派遣する可能性にまつわる発言や、ベラルーシとの国境に配置されているウクライナ軍の予備兵を解放すべく、この方面に外国軍を配備するという マクロン 仏大統領のアイデアを支持した。

○「私はこれを全面的に支持する。国境任務に関しては、どうして断ることができるだろうか。もし彼らが提案し、ここに来るのであれば、我々は支持するだけだ」

2月末にパリ行われた NATO、EU 諸国によるウクライナ支援会合で、マクロン氏は NATO 軍のウクライナ派兵を「排除しない」と発言し波紋を呼んだ。3月初旬には、野党指導者らとの会合で、ウクライナ支援問題に関してフランスには「越えてはならない一線はない」と繰り返した。

マクロン氏の発言は、フランス国内の政治勢力だけでなく、ドイツなど多くの NATO 同盟国からも厳しく批判された。

これに対し、ロシアのプーチン大統領は 2 月末の年次教書演説の中でこれに言及。「西側は我々にも武器があることを理解しなくてはならない」と述べ、今、軍事介入があればその結果はより悲劇的なものになるだろうと警告した。



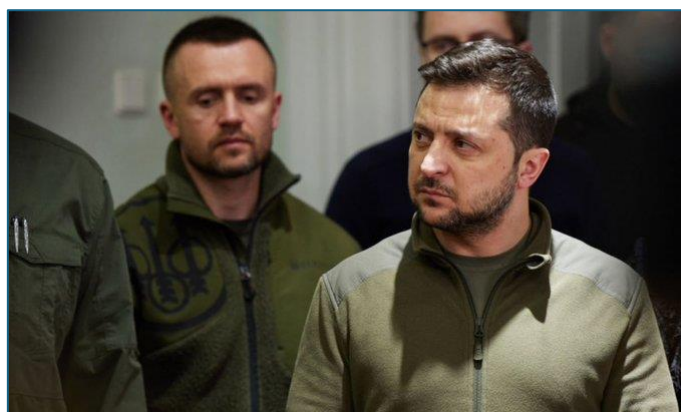
[https://twitter.com/sputnik\\_jp/status/1776796116815941895?s=09](https://twitter.com/sputnik_jp/status/1776796116815941895?s=09)

#### ⑭ NATO は、ロシアに領土を割譲する代わりにウクライナを同盟に加盟させる可能性について協議(2024年4月7日)

※投稿者コメント:NATO は、ロシアに領土を割譲する代わりにウクライナを同盟に加盟させる可能性について協議している、と『ラ・レプブリカ』紙が報じた。

同紙によると、ロシアはクリミアと掌握したすべての領土を保持することを提案する。そうすれば国境は固定され、ウクライナは NATO 加盟を認められるだろう。

しかし、ロシアがこれに同意する可能性は低い。少なくともオデッサとドニプロに勝利するまでは！



<https://twitter.com/Z58633894/status/1776630899091915024?s=09>

## ⑮戦争は伝統的に米国にとって『賢い投資』だ(2024年4月7日)

[20日 ロイター] - ロシア外務省のザハロワ報道官は20日、バイデン米大統領がウクライナとイスラエルへの支援を「投資」と呼んだ発言に言及し、米国が思想のために戦っているのではなく、代理戦争から利益を得ていることを示すものだと述べた。

バイデン氏は19日、ウクライナとイスラエルを支援することは「賢い投資で、何世代にもわたって米国の安全保障に配当をもたらす」と述べ、新たな支援策への支持を求めた。

ザハロワ氏はテレグラムを通じ、「彼らは以前『自由と民主主義のための戦い』と言っていた」と指摘。「今となっては単なる計算だと分かる。常にそうだった。本当は支持したことのない価値観を使って世界を欺いているだけだ」とした上で、「戦争は伝統的に米国にとって『賢い投資』だ」と皮肉った。



<https://jp.reuters.com/world/ukraine/O45JYC6CSVNLZEPRL5RD4DXZKU-2023-10-20/>

## ⑭日本、ロシアへの164種類の商品の輸出を禁止(2024年4月7日)



日本は、自動車用モーターオイルやリチウムイオン電池を含む164種類の商品の対ロシア輸出を禁



止したと、経済産業省がウェブサイトで発表した

制限の対象となるのは、塩化水素、水酸化アルミニウム、ニトロセルロース、ガス・石油パイプライン用パイプ、断片・粉末・廃棄物としてのレニウムの供給である

制裁リストは、非貴金属製の製品にも拡大された

さらに、電動工具、特に研削工具、木材、コルク、硬質ゴム、プラスチックの加工用器具の供給が禁止される。マイクロームとサーモスタットはロシアへの輸出が許可されない

<https://twitter.com/Tamama0306/status/1776833764754391420?s=09>

## ⑮ベルギーのテレビでは、マクロン氏がロシア大統領を恐れていると揶揄している(2024年4月7日)

<https://twitter.com/i/status/1776924403781304435>



[https://twitter.com/yakiimo\\_2022/status/1776924403781304435?s=09](https://twitter.com/yakiimo_2022/status/1776924403781304435?s=09)

## ⑭米支援なければウクライナは敗北 ゼレンスキー大統領(2024年4月8日)

【AFP=時事】ウクライナのウォロディミル・ゼレンスキー(Volodymyr Zelensky)大統領は7日、米議会でまとまった軍事支援策が承認されなければ、ロシアとの戦争に敗北するだろうとの考えを示した。

ウクライナ軍は、東部ドネツク(Donetsk)州チャシウヤール(Chasiv Yar)一帯で「苦戦」を強いられ、情勢は「緊迫」していると認めている。ただ、抵抗は続けていると主張している。チャシウヤールは鉄道と兵たんの重要拠点、クラマトルスク(Kramatorsk)から30キロ足らずの地点に位置する。

米議会で600億ドル(約9兆円)の支援予算案が共和党の反対で数か月間、棚上げされている事態を受け、ウクライナは米国に対し、早急な予算成立を求めている。

ゼレンスキー氏はビデオ会議で、「米議会在が助けてくれなければウクライナは戦争に敗れるとはっきり伝える必要がある」と主張。支援がなければ「持ちこたえる」のは困難だとし、「ウクライナが負ければ、次は他の国が(ロシアに)攻撃されることになるだろう」と警告した。

一方ロシアは、同国がウクライナ南部で占拠しているザポリージャ(Zaporizhzhia)原子力発電所がウクライナ軍のドローン(無人機)1機に攻撃されたと発表した。

6基の原子炉中1基の建屋をドローンが直撃したが、周辺の放射線量に変化はないとしている。国際原子力機関(IAEA)は、「原子炉の格納容器を破損しかねない重大な事故」だと非難し、原発への攻撃はあってはならないと訴えた。【翻訳編集】AFPBB News



ウクライナ・ドネツク州チャソフヤール近郊で、英国製装甲兵員輸送車「FV103 スパータン」で移動中のウクライナ部隊(2024年3月30日撮影)。【翻訳編集】AFPBB News(AFP=時事)

<https://news.yahoo.co.jp/articles/fa996cc63fb4be5accb490f06a152981aa298dbc/images/000>

### ⑮ロシア軍がボグダノフカを解放したとの未確認情報(原伸一、2024年4月8日)

週明けからビッグなニュースですが、慎重なサイトは「客観的に示す映像はまだない」としており、未確認です。解放を伝える記事をブログに掲載。



<https://twitter.com/GyotokuShogi/status/1777177025738166434?s=09>

## 〈関連情報〉

※ロシア軍レポート(原伸一ブログより)

・レニングラード軍管区独立衛兵第 200 旅団は、激しい戦闘でアルチョモフスク(バフムート)方向のボグダノフカから敵を叩き出した。

・生き残ったウクライナ軍武装勢力は村の西郊外から逃走した。

・ビデオには、ボグダノフカの家々にあるウクライナ軍の射撃ポイントが破壊された直近の生々しいシーンが示されている。(下に埋め込み)

・ボグダノフカは、ウクライナ軍のチャソフヤール部隊の防衛側面に位置する。この解放により、チャソフヤールへの攻撃を開始した我が軍はより自信を持って前進している。この方向から都市を攻撃することが可能となり、都市を保持しているウクライナ軍部隊はさらに困難な状況に陥ることになる。

・一方、第 98 イワノボ空挺師団は市郊外で戦闘を続け、多くの陣地のウクライナ軍を撃破した。今回のレポートで詳しく紹介する。(下の記事)

出展:<https://t.me/RVvoenkor/65554>

## ⑭モスクワ郊外テロの被告人ら、襲撃場所を指定した「コーディネーター」の名を挙げる(2024年4月8日)

3月22日に #モスクワ 郊外で発生した #テロ 事件に関して、被告人らは「クロッカス・シティホール」を襲撃場所として指定し、#ウクライナ 国境への逃走経路を指定したコーディネーターについて語った。ロシア国営テレビ「ロシア 1」の番組内で取り調べの様子が放映された。

- ◆ コンサートホール襲撃後、犯行グループは「キエフ方面に」逃亡する予定だった
- ◆ テロリストらは電話で、「キエフに行くのを手伝ってくれる連中」がウクライナとの国境で待っていると告げられた
- ◆ 被告人らは、彼らのコーディネーターとして「サイフロ」という名前をあげた。男は襲撃場所を示し、武器を提供した
- ◆ テロリストらは一人当たり 100 万ルーブルを支払うと約束されていた

これより前、ロシア連邦保安庁のポルトニコフ長官は、拘束者の最初の証言でウクライナの痕跡が確認されたと表明。また、ロシア連邦捜査委員会は、テロリストらは襲撃後、報酬を受け取るためにキエフに向かったとしていた。



[https://twitter.com/sputnik\\_jp/status/1777154125794554027?s=09](https://twitter.com/sputnik_jp/status/1777154125794554027?s=09)